

校長室だより～和光高校OB列伝 第7号 H28.6.14

埼玉県立和光高等学校 校長 村田 達

### 本橋雅人さん（3期生）後篇

結婚式での「初めての共同作業=ケーキ入刀」が定番となってから相当経つのだろう。しかし残念なことにかつての多くは使いまわしのデコレーションならぬイミテーションケーキであった。本橋さんの考える大切な日のケーキは当然本物でなければならない。本物だからこそ食べることができそして美味しくなければならない。さらにそれが周囲への感謝



の意を込めた新婦のハンドメイドの温かみのあるものであったなら……と **Anniversary** のアイデンティティが確立された。こうして1990年に目黒の地で本橋さんを中心とする3人のスタッフで新しいコンセプトのパティスリー **Anniversary** が誕生したのだ。

### **Anniversary** 早稲田店にて

ウェディングケーキ発祥の地・イギリスで生まれたシュガーケーキ。下の段のケーキは列席してくれたゲストのため。真ん中は列席できなかったゲストに。そして一番上の段は子供の洗礼式を祝うため、と三段重ねのものでした

結婚式だけでなく人生の心躍るいくつもの瞬間、例えば新しい命の誕生、素敵な人との出会いや生涯の愛を誓うときなどその感動を忘れないために私たちは「記念日」を創り祝います。そうすればあしたもあさっても頑張れるのです。

(アニバーサリーHPより)

開業当初はこうしたコンセプトがなかなか理解されず、結婚式場に営業に行く日々が続いたそうだが『本物』は間違いなく受け入れられ広がっていく。インターネット普及前夜の時代であったが列席する人々の感激とそれを表現する感想こそ最も大きな宣伝であった。評判は評判を呼びマスコミなどでも話題となる。また、それに伴うハンドメイド教室の普及もあり、拡がりには南青山の本店から早稲田・札幌そして一流百貨店からの要請による出店、さらに海外でのプロデュースも成功しその名前が浸透していく。付随して本橋さんは日本で最も有名なパティシエの一人となった。つい先日6月5日の日本テレビ「シューイチ」にも出演されている。そしてこの夏なんと和光の地に新店がオープンするのだ。

「生まれ育った和光市には特別な感情があります。私を育ててくれた大好きな街でもあります。地元産の素材を活かした他の店ではできない特色を出し、同時に2階に作るフリースペースではこの地ならではの催しなど「くつろげる空間」を提供させていただきたいと考えています」

お忙しい中を来校してくださった本橋さんは校長室でこのように語ってくださった。本当に尊敬でき、しかも心強いOBの方に応援していただいている喜びを感じた。

この稿のまとめとして、ラグビー部の恩師吉田道行先生から本橋さんについてお聞きした内容を示したい。

「創部3年目の年に入学してきた本橋君のことはよく覚えています。足が速いのとまじめな性格で愚痴など一言も聞いたことが無いほどひたむきに努力していました。ウィングとしては歴代でも上のランクに入るでしょう。全国に行かせてあげられなかったのは、私の力の無さが原因ですが、この後の人生で和光でのラグビーの経験が役に立っているのであれば嬉しい限りです。日本で5本の指に入るような有名なパティシエになったと以前から知っていましたが、持ち前の常にさぼらずに一生懸命頑張る姿勢がその立場を築いたのだと思っています。すでに押しも押されぬ人物になりましたが、これからも自らの信じた道をまっすぐに進み後輩たちの道標となって欲しいと思います。和光市に新しくお店を出す聞き是非妻と訪ねるつもりでいます。ますます頑張ってください。」

蛇足となるが一つだけ感想を述べさせていただきたい。私はお電話をさせていただく中で「最高のラグビー選手であった」という言葉を期待していた。1年から強豪チームのレギュラーで日本代表候補に選ばれるほどの選手なのだから決して的外れではないと思っている。しかしながらプレーヤーとしての評価は「まあ上のランクに入るでしょう」という素気ないお言葉であった。吉田先生のラグビーに向きあう熱い情熱と深い想い、そして和光高校ラグビー部の底知れぬ強さを改めて知る機会でもあった。